SONY
ヘルプガイド(Web取扱説明書)

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

PWA-RXSは、カメラから伝送される素材を受信するためのPCアプリケーションです。
このガイドでは、ソニーのXDCAM、Cinema Lineなどの対応カメラ、スマートフォンやポータブルデータトランスミッターと接続し、インターネット経由でファイル転送やライブストリーミングを行うための手順、操作、および設定について説明します。

概要

- このアプリケーションでできること
- 準備と操作の流れ

事前設定

- コネクションマネージャーの管理画面を起動する

画面の構成

- ライブストリーミング画面の構成
- ファイル転送画面の構成
- 設定画面の構成

アプリケーションの設定

- コネクションマネージャーを設定する
  - システムの設定を行う
  - 認証の設定を行う
- 外部ファイル転送（エクスポート）を設定する
  - 外部ファイル転送 （エクスポート）設定の流れ
  - 宛先サーバーを設定する
  - 転送プリセットを設定する
  - トランスミッターに転送プリセットをアサインする
  - 内部FTPサーバーを設定する
- ライセンスを適用する
  - 必要なライセンス
  - ライセンスを設定する

ライセンスを発行、適用する

ファイル転送操作

カメラをネットワーククライアントモードに設定する

スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）を設定する

LiveUトランスミッター/レシーバーを設定する

PWA-RXSでLiveU Centralと接続し、LiveUトランスミッター/レシーバーを設定する

スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）でカメラとLiveUトランスミッターの接続を設定する

ファイル転送を開始する

ライブストリーミング操作

ストリーミングレシーバーを登録する

コネクションマネージャーで受信・出力設定を行う

カメラをネットワーククライアントモードに設定する

SRTを使ってライブストリーミングを行う場合の設定を行う

ライブストリーミングを開始する

その他の操作

カメラの制御画面を表示する

撮影地点を地図上に表示する

カメラのクリップを転送する

その他

対応フォーマット

制限事項

使用上のご注意

PWA-RX1をご利用のお客様への注意事項

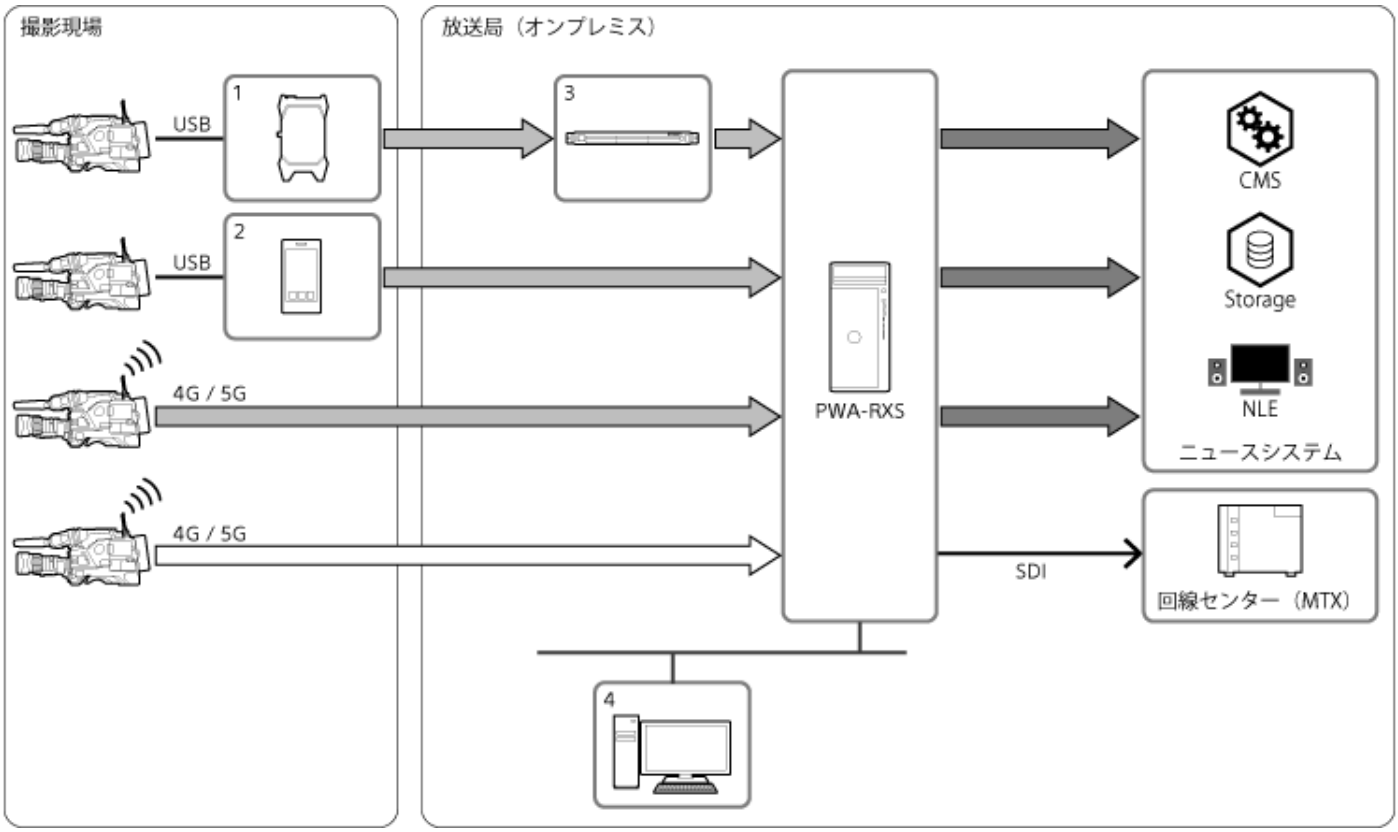
商標

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

このアプリケーションでできること

PWA-RXSは、撮影現場のカメラから伝送される素材をオンプレミス環境で受信するためのカメラゲートウェイを構築できるPCアプリケーションです。ソニーのXDCAM、Cinema Lineなどの対応カメラ、スマートフォンやポータブルデータトランスミッター、LiveU社製のトランスミッターと組み合わせて、さまざまな素材伝送ワークフローを構築できます。
PWA-RXSを使ってファイル転送およびライブストリーミング運用を行う場合のシステム構成例を次に示します。



⇨：ファイルアップロード（ファイル/チャンクファイル）
➡：外部ファイル転送（SMB、FTP、S3）
⇨：ライブストリーミング（QoS、SRT）
1：LiveUトランスミッター
2：Creators' App for Enterprise
3：LiveUレシーバー
4：クライアントPC

■ファイル転送

カメラで収録された信頼性が高いカメラネイティブ・ファイルをそのまま伝送できます。業界標準のXDCAMフォーマット準拠のファイル形式で素材やメタデータを受け渡しできるため、タイムコード、GPS（位置情報）などのメタデータを伝送できます。
PWA-RXSにアップロードされたクリップは、外部システム（サーバーやストレージ）にファイル転送（エクスポート）することができます。アップロードは、次の3つの方法に対応しています。

- ネットワーククライアントモードで接続されたカメラからのアップロード
- スマートフォン/ポータブルトランスミッターにインストールしたアプリ（Creators' App for Enterprise）からのアップロード
- LiveU社製トランスミッター/レシーバーからのアップロード

あらかじめ転送先をプリセットしておくことで、現場クルーが選択した場所へ直接、素材を伝送できます。

■ライブストリーミング

ライブストリーミング機能を搭載したカメラからリアルタイム伝送されたライブ映像をPWA-RXSで受信し、SDI端子から出力できます。
Sony QoS形式およびSRT形式のライブストリーミングに対応しています。

ご注意

- カメラからライブストリーミングを送信するには、ネットワーク機能を搭載したカメラが必要になります。対応するカメラについては、リリースノートをご覧ください。

PWA-RXSは、カメラなどのトランスミッターとPWA-RXSとの間のコネクションを管理するコネクションマネージャーとライブストリーミング映像を受信するストリーミングレシーバーで構成されます。コネクションマネージャーの操作画面はクライアントPCのWebブラウザーで表示でき、複数のコネクションを一括管理できます。

特記事項

- PWA-RXSに実装、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツ、オペレーティングシステム、およびソフトウェアには、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断や終了、または内容が変更される場合がありますので、ご了承ください。
- PWA-RXSは、ルーターやファイアウォールを経由してインターネット回線に接続してください。このような接続をしない場合、セキュリティの問題が生じる可能性があります。

ご注意

- セキュリティの問題が発生すると、製品がインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんなどのセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。また、お使いの機器が知らないうちに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性もあります。

関連項目

- 対応フォーマット

TP1002326396

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

準備と操作の流れ

PWA-RXSを使用するには、次の流れで準備と操作を行います。

1 事前設定

1. ネットワークの設定を行う
   PWA-RXSをインストールし、ネットワークに接続します。フィールド（撮影現場）のカメラからPWA-RXSに接続するにはインターネット回線に接続する必要があります。また、ルーターやファイアウォール、カメラなどのトランスミッターの設定も必要です。
   設定の詳細は、「システムインテグレーションガイド」をご覧ください。

2. SSL/TLS証明書をインストールする
   PWA-RXSを使用するには、認証局（CA）が発行したSSL/TLS証明書が必要です。認証局から入手したSSL/TLS証明書をコネクションマネージャーのPCにインストールしてください。
   インストールの詳細は、「システムインテグレーションガイド」をご覧ください。

3. PWA-RXSを設定する
   コネクションマネージャーで、次の設定を行います。

   - コネクションマネージャーを設定する
     システム（アカウント設定など）、トランスミッター/レシーバーを接続するための認証情報を設定します。
   - 外部へのファイル転送（エクスポート）を設定する
     ファイルの転送先として、宛先サーバーおよび転送プリセットを設定します。また、トランスミッターに転送プリセットをアサインします。
   - FTPサーバーを設定する
     トランスミッターからアップロードされたファイルを受信するためのFTPサーバーを設定します。
   - ライセンスを適用する
     購入したライセンスを登録または更新します。

4. ライブストリーミングレシーバーを設定する
   - ストリーミングレシーバーを登録する
     Initialization Toolを使用して、ストリーミングレシーバーをコネクションマネージャーに登録します。
   - コネクションマネージャーで受信・出力設定を行う
     コネクションマネージャーで、ライブストリーミングの出力設定を行います。

2 ファイル転送操作

トランスミッターの種類により、下記のいずれかの操作を行います。

- カメラをネットワーククライアントモードに設定する
- スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）を設定する
- LiveUトランスミッター/レシーバーを設定する
- ファイル転送を開始する

3 ライブストリーミング操作

- カメラをネットワーククライアントモードに設定する
- SRTを使ってライブストリーミングを行う場合の設定を行う
- ライブストリーミングを開始する

4 その他の操作

必要に応じて、下記の操作を行います。

- カメラの制御画面を表示する
- 撮影地点を地図上に表示する
- カメラのクリップを転送する

TP1002326398

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

コネクションマネージャーの管理画面を起動する

コネクションマネージャーに接続するには、PWA-RXSのPCと同じネットワークに接続されたクライアントPCのWebブラウザーで次のように操作します。
サポート対象のクライアントPCはWindows またはMacです。

使用できるWebブラウザー

- Google Chrome
- Microsoft Edge

Webブラウザーは最新のバージョンを使用してください。

1. **Webブラウザーを起動する。**

2. **アドレス欄に「https:// <SSL/TLS証明書で設定されたホスト名> 」と入力する。**

   ホスト名には、SSL/TLS証明書の「Common Name」または「Subject Alternative Name」と一致する名称を記載してください。
   ローカルネットワークから「https:// <SSL/TLS証明書で設定されたホスト名> 」でホストにアクセスできない場合は、hostsファイル（Windowsの場合：C:¥Windows¥System32¥drivers¥etc¥hosts、Macの場合：/private/etc/hosts）にSSL/TLS証明書で設定されたホスト名とPWA-RXSのIPアドレスを登録してください。登録後、ホストにアクセスできることを確認してください。

3. **ユーザー名とパスワードを入力してサインインする。**

   初回インストール時に設定されているユーザー名は「Admin」、パスワードは「123456」です。初回サインイン時、パスワード変更が必要になります。
   サインイン後、コネクションマネージャーのライブストリーミング画面が表示されます。

コネクションマネージャーからサインアウトするには

画面右上のアカウントアイコンを選択し、プルダウンメニューで［サインアウト］を選択します。サインイン画面に戻ります。

ご注意

- Webブラウザーからアクセスする前に、コネクションマネージャーのPCでSSL/TLS証明書を設定する必要があります。
- 同時にサインインできるユーザーは、上限20名です。上限に達した場合、ユーザーがサインインしようとするとエラーメッセージが表示されます。システムの管理権限を持つユーザーの場合、［解放］ボタンが表示されます。［解放］ボタンをクリックすると、すべてのセッションを切断することができます。
- セキュリティ確保のため、パスワードは必ず定期的に変更してください。また、パスワードには他人に推測されにくく、十分な長さのある文字列を設定して厳重に保管することを推奨します。

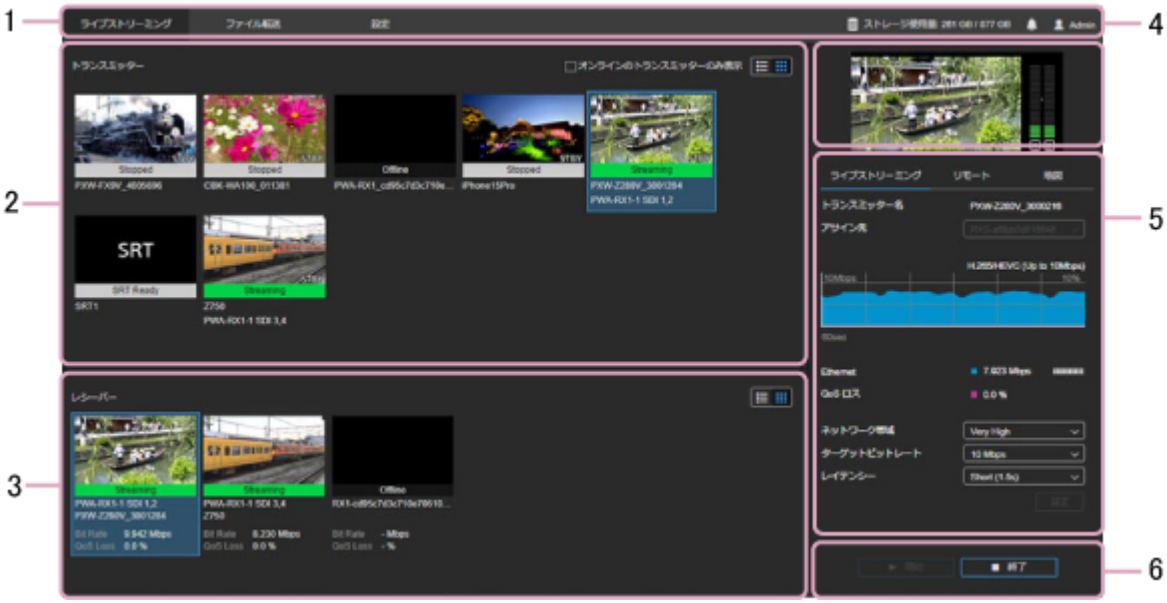
関連項目

- ライブストリーミング画面の構成
- 設定画面の構成
- ライブストリーミングを開始する

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ライブストリーミング画面の構成

ライブストリーミング画面では、ライブストリーミングを行うデバイスを表示し、ライブストリーミングの開始/停止などの操作を行います。



1 グローバルヘッダー

タブやアイコンをクリックして、画面を移動します。

- ライブストリーミング：ライブストリーミング画面を表示する。
- ファイル転送：ファイル転送画面を表示する。
- 設定：設定画面を表示する。
- （ストレージ使用量）：ストレージ使用量を表示する。
- （警告）：コネクションマネージャーの管理画面に接続するためのSSL/TLS証明書の有効期限が近いことを警告する。「システムインテグレーションガイド」を参照して、SSL/TLS証明書を更新してください。
- （通知）：ライセンス期限についての注意を表示する。
- （ユーザー名）：プルダウンメニューから、オンラインヘルプの表示、利用規約の表示、またはサインアウトを行う。

2 トランスミッターエリア

ライブストリーミング出力を行うトランスミッターをサムネイル形式またはリスト形式で表示します。
サムネイル形式では、サムネイルおよび次の情報を表示します。また、サムネイル上に送信機器の録画状態を［REC］（録画中）、または［STBY］（スタンバイ）と表示します。

- ライブストリーミングの状態：Streaming、Unstable、Stopped、Reserved、Disabled、Offline、SRT Ready
- 送信機器名：カメラの機種、またはSRT Caller名
- 受信機器名：RXS-(シリアルNo.)

リスト形式では、送信機器名と受信機器名を表示します。

- ［オンラインのトランスミッターのみ表示］チェックボックス：オンライン（SRT Readyも含む）のトランスミッターのみを表示します。
- （List View）ボタン：トランスミッターをリスト形式で表示します。
- （Grid View）ボタン：トランスミッターをサムネイル形式で表示します。

3 レシーバーエリア

ライブストリーミングを受信するデバイスをサムネイル形式またはリスト形式で表示します。
サムネイル形式では、サムネイルおよび次の情報を表示します。PWA-RXS側でライブストリーミング映像をファイルに保存している場合は、サムネイル上に（ファイル出力）アイコンを表示します。RTMP出力を行った場合は、サムネイル上に（RTMP出力）アイコンを表示します。

- ライブストリーミングの状態：Streaming、Unstable、Stopped、Reserved、Disabled、Offline、SRT Ready
- 送信機器名：カメラの機種、またはSRT Caller名
- 受信機器名：RXS-(シリアルNo.)
- ビットレート
- ライブストリーミングのロス率

リスト形式では、送信機器名と受信機器名を表示します。

- （List View）ボタン：デバイスをリスト形式で表示します。
- （Grid View）ボタン：デバイスをサムネイル形式で表示します。

4 プレビューエリア

トランスミッターエリアで選択したライブストリーミングのプレビューを表示します。

ご注意

- プレビュー表示は、SDI出力との間に表示遅延があります。
- プレビュー表示は、SDI出力とは表示更新間隔が異なります。

5 設定エリア

選択しているトランスミッターのライブストリーミング設定を行います。

［ライブストリーミング］タブ

- トランスミッター名：ライブストリーミングをしているデバイスの名前を表示します。
- アサイン先：ライブストリーミングの出力先となるPWA-RXSおよびSDIポートを選択します。ライブストリーミングの実行中は変更できません。
- グラフ：ビットレートとライブストリーミングのロス率の変化およびコーデックを表示します。
- キャリア：カメラとの通信に使用している回線のキャリア名とビットレートを表示します。表示される情報は、接続しているカメラおよびカメラの状態によって異なります。
- QoS ロス：ライブストリーミングのロス率を表示します。
- ネットワーク帯域：ライブストリーミングの解像度と最大ビットレートを選択します。［Very High］、［High］、［Middle］、［Low］のいずれかを選択できます。選択可能な値は、接続しているカメラおよびカメラの状態によって異なります。
- ターゲットビットレート：設定画面の［コネクションマネージャー］タブ >［ライブストリーミング］>［ターゲットビットレート設定を使用する］をオンにしているときに、ここでターゲットビットレートを選択できます。［ネットワーク帯域］の設定に応じて、選択できるビットレートが異なります。
- レイテンシー：ライブストリーミングの遅延時間を選択します。［Very Short(0.7s)］、［Very Short(1s)］、［Short(1.5s)］、［Middle(3s)］、［Long(5s)］、［Very Long(10s)］のいずれかを選択できます（設定値に示されている遅延時間は目安です。ネットワークの遅延が加算されるため、実際の遅延時間とは異なることがあります）。
- ［設定］ボタン：［ネットワーク帯域］、［ターゲットビットレート］、［レイテンシー］の設定の変更を反映します。

ご注意

- SRTを使用する場合は、［ネットワーク帯域］、［ターゲットビットレート］、［レイテンシー］の設定はできません。設定画面のレシーバー設定とSRT Caller側の設定が使われます。

［リモート］タブ

ご注意

- 各機能は、対応カメラでのみ有効です。
- 表示されるボタンやスイッチ、操作パネルは、接続するカメラによって異なります。

- ［カメラコントロール］スイッチ：カメラのリモート制御を有効にします。
- ［プロキシ録画］スイッチ：カメラでプロキシファイルを記録するかどうかを設定します。

［地図］タブ

ご注意

- この機能は、対応カメラでのみ有効です。

- ［地図を表示］ボタン：カメラの現在位置を地図上に表示します。

6 ライブストリーミング操作エリア

ライブストリーミングの操作を行います。

- ［開始］ボタン：ライブストリーミングを開始します。SRTを使用する場合、レシーバーがSRT Listenerモードでオンラインになります。画面の指示に従って、SRT Callerからライブストリーミングを開始してください。
- ［終了］ボタン：ライブストリーミングを停止します。

関連項目

- ライブストリーミングを開始する
- ファイル転送画面の構成
- 設定画面の構成
- 対応フォーマット

TP1002326400

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ファイル転送画面の構成

ファイル転送画面では、トランスミッター（カメラ、スマートフォン/ポータブルデータトランスミッターにインストールしたアプリ（Creators' App for Enterprise）、またはLiveUトランスミッター）ごとに転送プリセット（PWA-RXSにアップロードされたファイルのエクスポート先）をアサインできます。また、トランスミッターからPWS-RXSへのアップロード状況や、転送ジョブ（PWS-RXSから外部の宛先サーバーへのエクスポート処理）の進捗を確認できます。
宛先サーバーの設定については「宛先サーバーを設定する」を、転送プリセットの設定については、「転送プリセットを設定する」をご覧ください。



1 ［トランスミッター］エリア

ファイル転送を行うトランスミッターをリスト形式で表示します。

- ［転送プリセットをアサイン］ボタン：トランスミッターに転送プリセットをアサインします。

2 ［ジョブリスト］タブ

PWS-RXSから外部の宛先サーバーへのファイル転送ジョブのステータス、進行状況の確認、および操作を行います。

3 ［プロキシ］タブ

トランスミッターがネットワーククライアントモードで接続されているカメラの場合にプロキシクリップを一覧表示します。各クリップの先頭のチェックボックスをチェックすることで、PWA-RXSにアップロードするクリップを選択します。
ファイルのアップロード先は、PWA-RXSの内部FTPサーバーになります。

- ［Transfer］ボタン：選択されているクリップをPWA-RXSにアップロードします。

4 ［ハイレゾ］タブ

トランスミッターがネットワーククライアントモードで接続されているカメラの場合に、ハイレゾクリップを一覧表示します。パラレル記録（プロキシクリップを同時に記録）したクリップのみプレビュー表示が可能です。各クリップの先頭のチェックボックスをチェックすることで、PWA-RXSにアップロードするクリップを選択します。
ファイルのアップロード先は、PWA-RXSの内部FTPサーバーになります。

- ［Transfer］ボタン：選択されているクリップをPWA-RXSにアップロードします。

関連項目

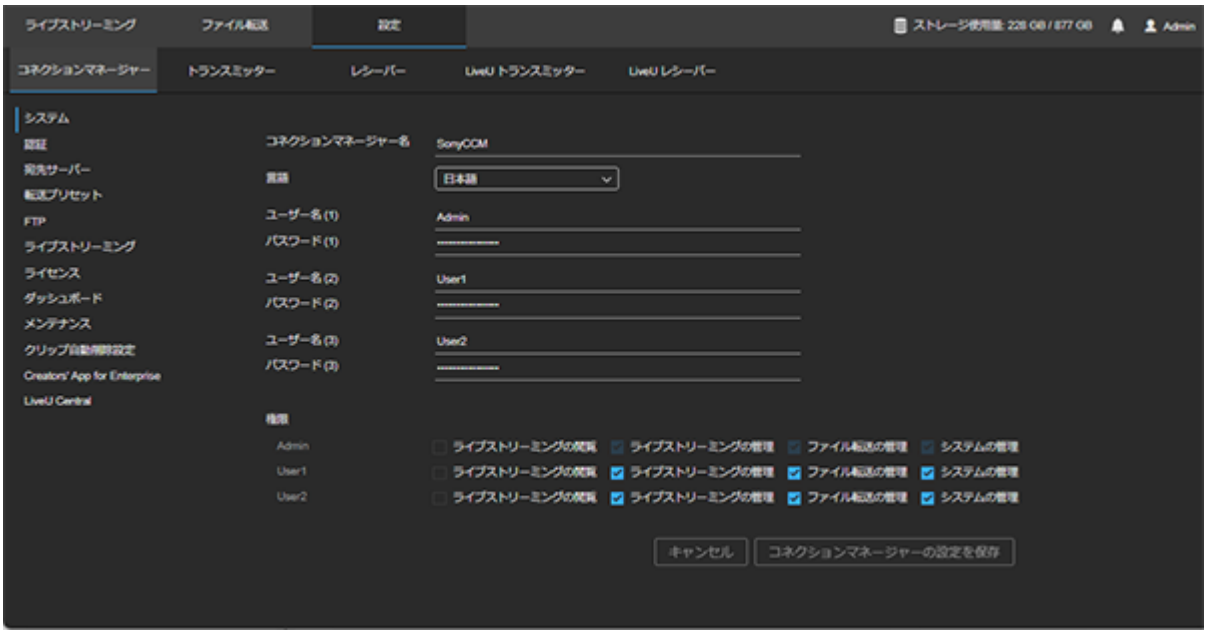
- 宛先サーバーを設定する
- 転送プリセットを設定する
- トランスミッターに転送プリセットをアサインする

TP1002326401

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

設定画面の構成

設定画面では、コネクションマネージャー、トランスミッター（カメラ、スマートフォン/ポータブルデータトランスミッターにインストールしたアプリ（Creators' App for Enterprise）、またはLiveUトランスミッター）、レシーバーの設定を行います。画面上部のタブでページを切り替えます。



［コネクションマネージャー］タブ

コネクションマネージャーの設定を行います。

［システム］

- コネクションマネージャー名：コネクションマネージャーの名称を入力します。
- 言語：コネクションマネージャーの表示言語を選択します。
- ユーザー名(1)：コネクションマネージャーにサインインするときの管理用ユーザー名を入力します。
- パスワード(1)：上記ユーザーのパスワードを入力します。
- ユーザー名(2) / ユーザー名(3)：コネクションマネージャーにサインインする一般ユーザー名を入力します。一般ユーザーは2つ設定できます。
- パスワード(2) / パスワード(3)：上記ユーザーのパスワードを入力します。
- 権限：各ユーザーに対する権限を設定します。チェックすると、権限を付与します。
  - ライブストリーミングの閲覧：ユーザーにライブストリーミング閲覧の権限を付与します。
  - ライブストリーミングの管理：ユーザーにライブストリーミング操作の権限を付与します。
  - ファイル転送の管理：ユーザーにファイル転送操作の権限を付与します。
  - システムの管理：ユーザーに設定管理の権限を付与します。

［認証］

コネクションマネージャーにトランスミッターおよびレシーバーからサインインする際の設定をします。

トランスミッター

- ユーザー名(1) / ユーザー名(2)：カメラからコネクションマネージャーにサインインする際のユーザー名を入力します。ユーザーは2つまで設定できます。

- パスワード(1) / パスワード(2)：上記ユーザーのパスワードを入力します。
- ポート：カメラからコネクションマネージャーに接続するときに使用するTCPポート番号です。

［トランスミッター］の各項目を変更した場合は、設定を保存した後に各カメラを再接続してください。

レシーバー

- ユーザー名：ライブストリーミングを受信するPWA-RXSからコネクションマネージャーにサインインする際のユーザー名を入力します。
- パスワード：上記ユーザーのパスワードを入力します。
- ポート：ライブストリーミングを受信するPWA-RXSからコネクションマネージャーに接続するときに使用するTCPポート番号です。

［レシーバー］の各項目を変更した場合は、設定を保存した後にPWA-RXSをインストールしたPC上でInitialization Toolを実行し、再接続してください。

［宛先サーバー］
トランスミッターからアップロードされたクリップを外部のサーバーに転送する場合の宛先サーバーを設定します。
宛先サーバーの設定方法の詳細は、「宛先サーバーを設定する」をご覧ください。

［転送プリセット］
複数の宛先サーバーや転送時の設定を転送プリセットとして設定します。
転送プリセットの設定方法の詳細は、「転送プリセットを設定する」をご覧ください。

［FTP］

トランスミッターからアップロードされるクリップを受信するPWA-RXSのFTPサーバーを設定します。

- サーバー名：FTPサーバー名が表示されます。
- ホスト名 / IP アドレス：インターネットからこのPWA-RXS（内部FTPサーバー）にアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- ポート：インターネットからこのPWA-RXS（内部FTPサーバー）にアクセスするための、FTPサーバーのコントロールポートを入力します。
- FTP パッシブモードの開始ポート：インターネットからこのPWA-RXS（内部FTPサーバー）にアクセスするための、FTPサーバーのパッシブモードのデータポートを入力します。

［ライブストリーミング］

- ターゲットビットレート設定を使用する：ライブストリーミング画面の設定エリアで、ターゲットビットレートをマニュアルで設定できるようにするかどうかを指定します。チェックボックスをオンにすると、設定エリアの［ネットワーク帯域］の設定に応じて、［ターゲットビットレート］の設定値を選択できます。
- HEVC (H.265) コーデックを有効にする：H.265/HEVCを使用する場合にチェックボックスをオンにします。送信機器がH.265/HEVCに対応していない場合や、送信機器側でH.265/HEVCを有効にしていない場合は、オンにしていてもH.265/HEVCでの送信は行われません。

［ライセンス］

ライセンスの一覧を表示します。ライセンスのステータスや有効期限が確認できます。

- ［DEVICE.DATの取得］ ボタン：Upgrade and License Management Suiteでインストールキーファイルを作成する際に必要な「DEVICE.DAT」ファイルを取得します。
- ［インストール］ ボタン：Upgrade and License Management Suiteで作成したインストールキーファイルをインストールします。

［ダッシュボード］

ライブストリーミングの利用状況を表示します。

- ライブストリーミングの時間：ライブストリーミング利用の累積時間をグラフ表示します。
- ライブストリーミングのパフォーマンス：ライブストリーミング履歴をグラフ表示します。グラフエリアをクリックし、マウスホイールを操作すると、ズームイン/アウトできます。左右にドラッグ操作を行うと表示範囲をスクロールできます。

［メンテナンス］

- コネクションマネージャー バージョン：コネクションマネージャーのソフトウェアバージョンを表示します。
- コネクションマネージャー 設定：［バックアップ］ボタンをクリックすると設定ファイルがバックアップされます。バックアップファイルは、/opt/sony/c3p/backupフォルダー以下に出力されます。バックアップとリストアの方法について詳しくは、「システムインテグレーションガイド」をご覧ください。

［クリップ自動削除設定］

クリップの自動削除の設定を行います。

［Creators' App for Enterprise］

PWA-RXSに接続されているCreators' App for Enterpriseがインストールされたスマートフォンの一覧を表示します。

Creators' App for Enterpriseがインストールされたスマートフォンを管理するには
［ファイル転送の管理］権限を持つユーザーがCreators' App for EnterpriseからPWA-RXSにサインインすると、使用しているスマートフォンとCreators' App for Enterpriseの情報が自動的にリストに追加されます。PWA-RXS上で追加することはできません。

リスト上のスマートフォンを削除したい場合には、削除するスマートフォンにチェックを入れ、（デバイスを削除）ボタンをクリックします。

- ［アップロード済みクリップの自動削除］

  - ［オン］：Creators' App for EnterpriseからPWA-RXSにクリップをアップロードした後、スマートフォン内のクリップが自動で削除されます。
  - ［オフ］：Creators' App for EnterpriseからPWA-RXSにクリップをアップロードした後、スマートフォン内のクリップは削除されません。
  - ［アプリで設定する］：各Creators' App for Enterpriseの設定に従います。

ご注意

- Creators' App for Enterpriseからサインインした際に、この設定がスマートフォンに反映されます。

［LiveU Central］

LiveUトランスミッターからクリップをアップロードする場合は、LiveU Centralに接続し、LiveUトランスミッター/レシーバーの情報を取得する必要があります。LiveU Centralに接続するための情報はLiveU社から入手できます。
LiveU Central接続のために下記の情報を入力します。

- API Endpoint
- API Key
- Application ID
- Authorization

接続のための情報を入力した後、下記のボタンを使用します。

- ［接続テスト］ボタン
  入力した接続情報でLiveU Centralに接続できるかのテストを行います。
- ［LiveU Central 設定を保存］ボタン
  接続情報を保存します。

［トランスミッター］タブ

トランスミッター（カメラ、SRT Caller）の設定を行います。

- （トランスミッターを追加）ボタン：トランスミッターを追加します。ボタンをクリックするとトランスミッターの設定が1行追加されます。名前を入力し、グループを選択してください。設定が終わったら、［トランスミッターの設定を保存］ボタンをクリックしてください。
- トランスミッター名：コネクションマネージャーに表示されるトランスミッターの名称を入力します。
- グループ：トランスミッターが所属するグループを選択します。
- 製品名：トランスミッターのモデル名を表示します。
- シリアル番号：トランスミッターのシリアル番号を表示します。
- ソフトウェアバージョン：トランスミッターのソフトウェアバージョンを表示します。
- 登録ステータス：トランスミッターのライセンス適用状態を表示、設定します。トランスミッターの接続を許可する場合は、「registered」に変更してください。
  - pending：トランスミッターが接続しようとしていて、登録待ちの状態。
  - registered：トランスミッターが登録済みで未接続の状態。
  - ready：トランスミッターが登録済みで、接続されている状態。
- （削除）ボタン：トランスミッターを一覧から削除します。
- ［グループを編集］ボタン：グループを編集します。

［レシーバー］タブ

ライブストリーミングを受信するPWA-RXSの設定を行います。

一覧

- レシーバー名：コネクションマネージャーに表示する名称を表示します。
- 製品情報：モデル名およびシリアル番号を表示します。
- ソフトウェアバージョン：コネクションマネージャーのソフトウェアバージョンを表示します。
- SDI情報：PCに装着されているSDI入出力ボードのバージョン情報を表示します。
- （削除）ボタン：PWA-RXSを一覧から削除します。

設定項目

- レシーバー名：コネクションマネージャーに表示する名称を入力します。
- ホスト名 / IP アドレス：インターネットからこのPWA-RXSにアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- ライブストリーミングの開始ポート：インターネットからライブストリーミングを受信するためのUDPポートの開始番号を入力します。
- SRT Listener ポート：SRTで受信する場合、SDIに出力するときに使われる受信ポート番号が表示されます。［ライブストリーミングの開始ポート］の範囲から選ばれます。

SDI 設定

- 解像度：出力映像の解像度を選択します。
- フレームレート：出力映像のフレームレートを選択します。
- リファレンスロック：SDI出力をロックさせる外部同期信号の設定とロック状態を表示します。設定は、常に「Auto」が表示されます。
- 出力信号：ライブストリーミング停止中に出力する画像として［Black］、［Color Bar］または［User Image］を指定できます。［User Image］を指定する場合は、出力画像として表示する画像ファイル（解像度1920×1080のJPEG画像またはBMP画像）を、Initialization Toolで指定します。
- SDI ポート名：SDIポート名を変更できます。PCに装着されているSDIボードによって表示されるポートの数は異なります。

SRT Listener 設定
SRT受信の設定を行います。設定は、SRT Caller側の設定と合わせてください。

- 解像度：入力映像に期待される画面サイズが表示されます。SDI設定の解像度と同じ値が表示されます。
- フレームレート：入力映像に期待されるフレームレートが表示されます。SDI設定のフレームレートに応じた値が表示されます。
- コーデック：常に［Auto］が表示されます。

- レイテンシー (20 - 8000 ms)：遅延量を20～8000ミリ秒の間で設定します。SRT Caller側とSRT Listener側でそれぞれ遅延量が設定でき、大きい方の値が採用されます。
- 暗号化の種類：暗号化の有効/無効および暗号化方式を選択します。AES-128はpbkeylen=16、AES-256はpbkeylen=32 に相当します。暗号化を有効にした場合、同じ方式で暗号化されたライブストリーミング以外は受け付けません。
- パスフレーズ：暗号化に使用するパスフレーズを入力します。

出力オプション
受信したライブストリーミングを出力するオプションを選択します。

- SDI出力のみ：SDI端子にのみ出力します。
- ファイル出力：ファイル出力を有効にします。
- RTMP 出力：RTMP出力を有効にします。

ご注意

- SDI出力を行うには、PWAL-RXSSY （NETWORK RX STATION SDI OUTPUT LICENSE）が必要です。

ファイル出力の設定

- モード：ライブストリーミング中の映像をファイルに保存する方法を選択します。
  - ライブストリーミングに同期する：ライブストリーミング開始とともにファイルの保存を開始します。
  - 録画フラグに同期する：カメラから送信されるREC/STOPフラグに従ってファイルの保存を開始・終了します。
- 保存先：ファイルの保存先が表示されます。

  ご注意

  - ファイルの保存先は、「/opt/sony/c3p/rx-server/out/」固定になります。
- 録画済みクリップの自動削除：保存されたファイルの自動削除をするかどうかを指定します。自動削除を行うときは、オンにしてファイルを保存しておく日数および削除を実行する時刻を指定します。

RTMP出力の設定

- ストリーム URL：RTMP出力先URLを入力します（例：rtmp://rtmp.example.com:1935/live）。RTMPS出力をする場合は、URLに「rtmps://」を指定します（例：rtmps://rtmps.example.com:443/live）。
- ストリーム名 / キー：ライブストリーミング名またはキーを入力します。
- 解像度：RTMP出力の解像度を選択します。
- RTMP 認証：認証が必要な場合はチェックボックスをオンにします。
- ユーザー名：［RTMP 認証］を有効にした場合に、ユーザー名を入力します。
- パスワード：［RTMP 認証］を有効にした場合に、パスワードを入力します。

関連項目

- ライブストリーミング画面の構成
- コネクションマネージャーで受信・出力設定を行う
- 宛先サーバーを設定する
- 転送プリセットを設定する

TP1002326402

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

システムの設定を行う

コネクションマネージャーの管理画面からコネクションマネージャーの設定を行います。

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［システム］を選択する。**
2. **［コネクションマネージャー名］に、PWA-RXSに付ける名前を入力する。**
3. **コネクションマネージャーの表示言語を切り替えるときは、［言語］で言語を選択する。**
4. **コネクションマネージャーにサインインする管理者のユーザー名とパスワードを、［ユーザー名（1）］と［パスワード（1）］にそれぞれ入力する。**
5. **一般ユーザーを設定する場合は、［ユーザー名（2）］/［ユーザー名（3）］と［パスワード（2）］/［パスワード（3）］に、一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。同じ画面で、一般ユーザーの権限を設定できます。**

   スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）からPWA-RXSにサインインする際は、ここで設定したユーザー名、パスワードを使用します。使用するユーザーには、［ファイル転送の管理］権限が必要です。
6. **［コネクションマネージャーの設定を保存］をクリックして設定を保存する。**

関連項目

- 設定画面の構成
- 認証の設定を行う

TP1002326403

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

認証の設定を行う

カメラおよびレシーバーからコネクションマネージャーに接続する際の認証情報を設定します。

1. **カメラからコネクションマネージャーにサインインするユーザーのユーザー名とパスワードを、［コネクションマネージャー］タブの［認証］>［トランスミッター］の［ユーザー名（1）］/［ユーザー名（2）］と［パスワード（1）］/［パスワード（2）］にそれぞれ入力する。**
2. **レシーバーからコネクションマネージャーにサインインするユーザーのユーザー名とパスワードを、［認証］>［レシーバー］の［ユーザー名］と［パスワード］にそれぞれ入力する。**
3. **［コネクションマネージャーの設定を保存］をクリックして設定を保存する。**

関連項目

- 設定画面の構成
- システムの設定を行う

TP1002326404

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

外部ファイル転送 （エクスポート）設定の流れ

トランスミッターからPWA-RXSにアップロードされたクリップを外部にファイル転送（エクスポート）するための設定を行います。次の順に設定を行います。

1. **宛先サーバーを設定する。**
2. **転送プリセットの設定で、先に設定した宛先サーバーを選択して、転送プリセットを設定する。**
3. **転送プリセット設定後、ファイル転送画面でトランスミッターに転送プリセットをアサインする。**

関連項目

- 宛先サーバーを設定する
- 転送プリセットを設定する
- トランスミッターに転送プリセットをアサインする

TP1002326495

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

宛先サーバーを設定する

外部ファイル転送の宛先サーバーを設定します。宛先サーバーで設定できるサーバーの種類は、FTPサーバー、SMBサーバー、およびS3バケットです。

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［宛先サーバー］を選択する。**
2. **［+］（宛先サーバーを追加）ボタンをクリックし、サーバー名を入力し、［保存］ボタンをクリックする。**
3. **［サーバーの種類］でサーバーの種類を選択する。**

   FTPサーバー、S3バケット、SMBサーバーが選択できます。サーバーの種類を選択すると、接続するための情報を設定する欄が表示されます。
4. **宛先サーバーに接続するための情報を設定する。**
5. **［接続テスト］ボタンをクリックして、接続を確認する。**
6. **接続が確認できたら、［宛先サーバーの設定を保存］ボタンをクリックして、サーバーの設定を保存する。**

FTPサーバーの設定内容



S3バケットの設定内容



SMBサーバーの設定内容



関連項目

- 設定画面の構成

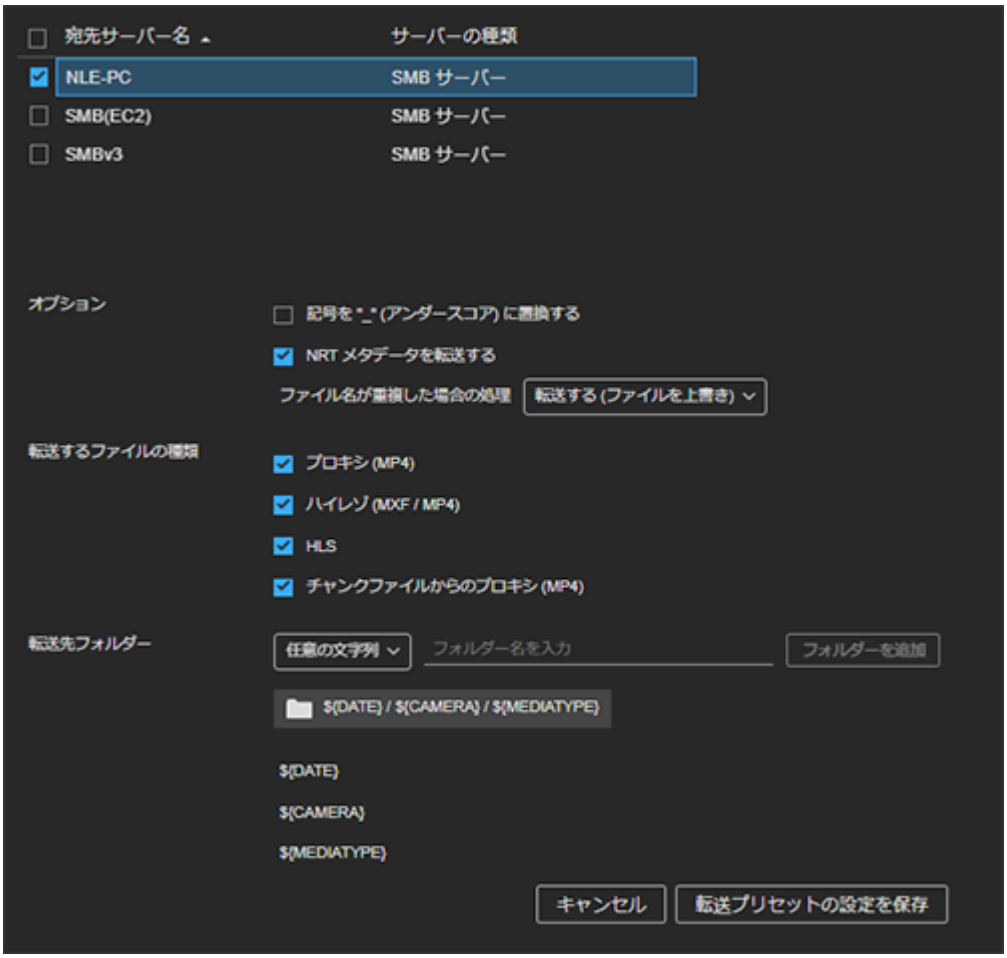
TP1002326405

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

転送プリセットを設定する

先に設定した宛先サーバーを選択し、転送オプション、転送先フォルダーの設定をして、転送プリセットの設定を保存します。

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［転送プリセット］を選択する。**
2. **［+］（転送プリセットを追加）ボタンをクリックし、プリセット名を入力し、［保存］ボタンをクリックする。**
3. **設定した宛先サーバーを選択する。**
4. **転送オプションを選択する。**
   - 記号を "_" (アンダースコア) に置換する
   - NRT メタデータを転送する
   - ファイル名が重複した場合の処理
     - 転送する (ファイルを上書き)
     - 転送する (ファイル名を変更)
     - 転送しない
   - 転送するファイルの種類
     - プロキシ (MP4)
     - ハイレゾ (MXF / MP4)
     - HLS
     - チャンクファイルからのプロキシ (MP4)
   - 転送先フォルダー
     - 任意の文字列
     - カメラ名
     - アップロード日時 (YYYY-MM-DD)
     - メディアタイプ (Proxy / High-res / Chunk / HLS)
5. **［転送プリセットの設定を保存］をクリックして保存する。**



関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326406

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

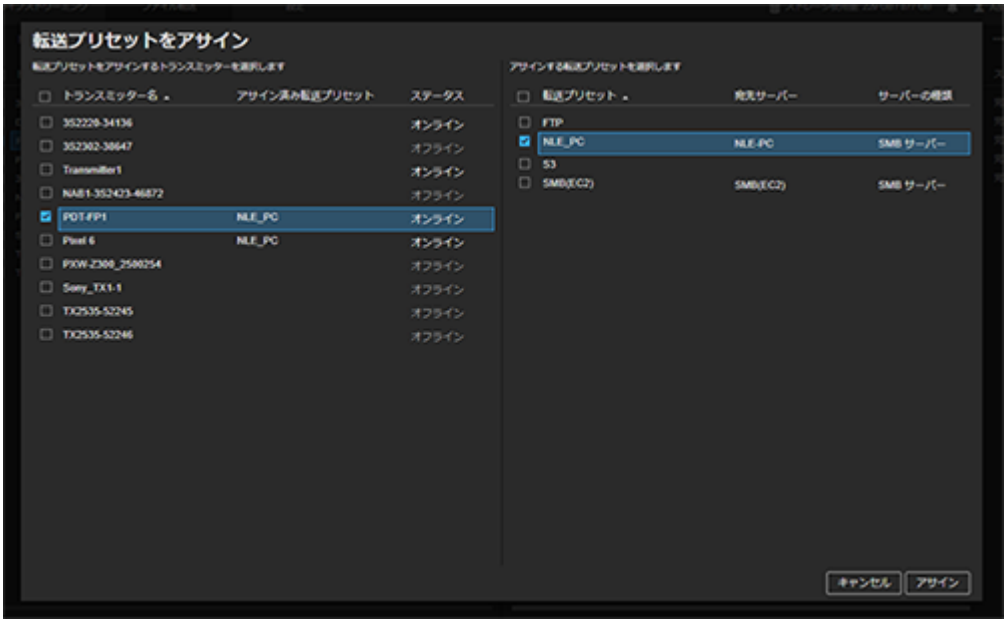
トランスミッターに転送プリセットをアサインする

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーで［ファイル転送］を選択して、ファイル転送画面を開く。**

2. **［転送プリセットをアサイン］ボタンをクリックする。**

   ［転送プリセットをアサイン］ダイアログが表示されます。

3. **トランスミッターと転送プリセットを選択して、［アサイン］ボタンをクリックする。**



関連項目

- ファイル転送画面の構成

TP1002326496

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

内部FTPサーバーを設定する

クリップはトランスミッターからPWA-RXSへFTPでアップロードされます。アップロード先となるPWA-RXSの内部FTPサーバーを設定します。

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［FTP］を選択する。**

2. **FTP情報を設定する。**
   - サーバー名（表示のみ）
   - ホスト名 / IP アドレス
   - ポート
   - FTP パッシブモードの開始ポート

3. **［コネクションマネージャーの設定を保存］ボタンをクリックする。**

関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326407

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

必要なライセンス

PWA-RXSを使用するには、ライセンスを購入して登録する必要があります。
システム構成およびPWA-RXSへのトランスミッター入力数に応じて、ライセンスを準備してください。

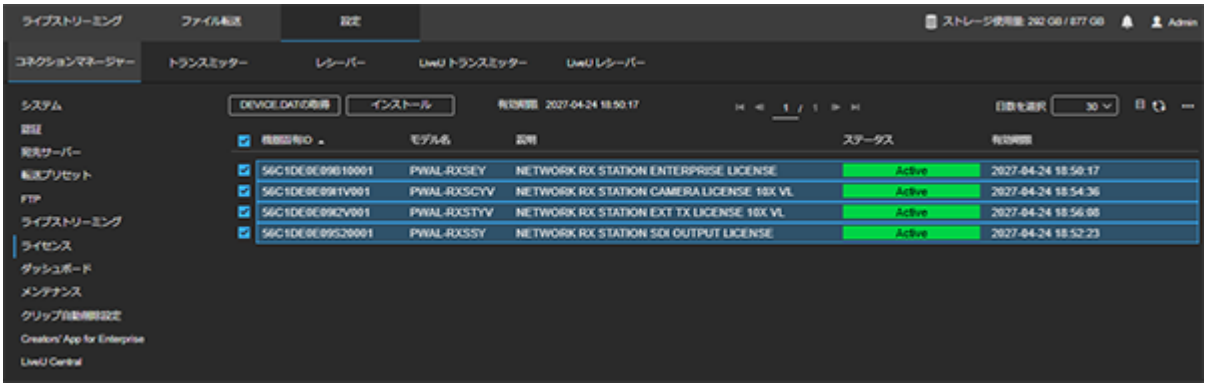
モデル	ライセンス名	期間	説明
PWAL-RXSXM	NETWORK RX STATION EXPRESS LICENSE	1カ月	基本構成のパッケージ製品 • 2入力まで利用可能（カメラからCreators' App for Enterprise経由のファイルアップロード、またはLiveUトランスミッター/レシーバー経由のファイルアップロード） • オプションライセンスによる入力数または機能の拡張は不可
PWAL-RXSEY	NETWORK RX STATION ENTERPRISE LICENSE	1年	カスタマイズ構成用のベースライセンス • 2入力まで利用可能（カメラからCreators' App for Enterprise経由のファイルアップロード、またはLiveUトランスミッター/レシーバー経由のファイルアップロード） • オプションライセンスを追加することで、入力数または機能を拡張できます
PWAL-RXSCY	NETWORK RX STATION CAMERA LICENSE	1年	カメラからCreators' App for Enterprise経由のファイルアップロード、またはカメラから直接のライブストリーミング入力を1つ追加するオプションライセンス
PWAL-RXSTY	NETWORK RX STATION EXT TX LICENSE	1年	カメラからサードパーティトランスミッターのファイルアップロードを1つ追加するオプションライセンス
PWAL-RXSSY	NETWORK RX STATION SDI OUTPUT LICENSE	1年	ライブストリーミングのSDI出力機能を追加するオプションライセンス
PWAL-RXSCYV	NETWORK RX STATION CAMERA LICENSE 10X VL	1年	NETWORK RX STATION CAMERA LICENSEのボリュームライセンス10本セット
PWAL-RXSTYV	TX1 NETWORK RX STATION EXT TX LICENSE 10X VL	1年	NETWORK RX STATION EXT TX LICENSEのボリュームライセンス10本セット

TP1002326497

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ライセンスを設定する

1 コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［ライセンス］を選択する。



2 画面右上の（メニュー）ボタンをクリックし、［機器固有ID生成］を選択する。

3 ［機器固有ID生成］ダイアログでライセンス数を入力し、［保存］をクリックする。



ライセンス一覧にライセンスが表示されます。

4 有効にしたいライセンスにチェックを入れ、［DEVICE.DATの取得］ボタンをクリックする。

Web ブラウザーを起動しているPCのダウンロードフォルダーに「PWA-RXS_DEVICE_DAT_(日付).zip」というファイルがダウンロードされます。

5 zip ファイルを解凍する。

> 解凍すると、「DEVICE.DAT」ファイルが展開されます。「DEVICE.DAT」ファイルはライセンス取得用に使用します。

関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326498

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

ライセンスを発行、適用する

Upgrade and License Management Suite（ULMS）サイトでソフトウェアライセンス購入コードを登録した後、本アプリケーションで作成したDEVICE.DATファイルを登録してインストールキーファイルをダウンロードしてください。
ULMSライセンスの利用方法は、下記のULMSサイトをご覧ください。
https://ulms.sony.net/purchaseandinstallationprocess

1. **ULMSサイトからダウンロードしたインストールキーファイルをPWA-RXSの設定で利用するPCの任意のフォルダーに保存する。**
2. **コネクションマネージャーにサインインし、グローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［ライセンス］を選択する。**
3. **［インストール］ボタンをクリックする。**
4. **保存したインストールキーファイルを選択し、［実行］ボタンをクリックする。**

   該当のライセンスのステータスが「Active」になります。

ご注意

- ライセンスの有効期限が近づいた場合、または期限切れになった場合、グローバルヘッダーにライセンス警告が表示されます。ライセンスの状態をご確認ください。
- PWAL-RXSXM（NETWORK RX STATION EXPRESS LICENSE）の有効期間が残っている状態でPWAL-RXSEY（NETWORK RX STATION ENTERPRISE LICENSE）をインストールすると、PWAL-RXSXM（NETWORK RX STATION EXPRESS LICENSE）は無効になります。

関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326408

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

カメラをネットワーククライアントモードに設定する

ネットワーククライアントモード対応カメラを撮影に使用する場合は、次のように操作してネットワーククライアントモードに設定します。

1. **ネットワーククライアントモード対応カメラの電源を入れる。**
2. **カメラの設定メニューを開く。**
3. **ネットワーククライアントモードを設定する。**
   - ［CCM Address］には、IPアドレスではなくPWA-RXSに設定したSSL/TLS証明書の「Common Name」または「Subject Alternative Name」と一致するホスト名を設定してください。
   - ロードする「CCM_certification.pem」には、SSL/TLS証明書を発行した認証局で提供されるルート証明書を書き込んでください。
4. **ネットワーククライアントモードをOnにする。**
5. **コネクションマネージャーの設定画面を表示し、［トランスミッター］タブで該当のカメラを選択して［登録ステータス］を［registered］に変更する。**

ご注意

- 取り付けや設定方法の詳細は、カメラのマニュアルをご覧ください。
- PWA-RXSとカメラを接続する際には、必ずPWA-RXSのPCに認証局から入手したSSL/TLS証明書を適用してください。
- カメラの日付と時刻をPWA-RXSのPCの日時と合わせてください。

関連項目

- 制限事項

TP1002326411

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）を設定する

カメラやカードリーダーとCreators' App for Enterpriseをインストールしたスマートフォンを USB接続し、カメラやカードリーダーにあるクリップをCreators' App for Enterprise経由でPWA-RXSにアップロードすることができます。
カメラをCreators' App for Enterpriseと接続して使用する場合は、以下の手順で行います。

1. **スマートフォンのCreators' App for Enterpriseで、PWA-RXSにサインインする。**

   PWA-RXSの［設定］>［コネクションマネージャー］>［システム］で設定したユーザーでPWA-RXSにサインインしてください。ユーザーには、［ファイル転送の管理］権限を付与してください。

2. **カメラとCreators' App for Enterpriseがインストールされたスマートフォンを USBケーブルで接続する。**

3. **Creators' App for Enterpriseのホーム画面の［カメラ］ボタンをタップする。**

4. **［新しいカメラプリセットを作成］からカメラのQRコード読み込みまたはBluetooth接続でカメラを登録する。**

TP1002326413

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

PWA-RXSでLiveU Centralと接続し、LiveUトランスミッター/レシーバーを設定する

カメラとLiveUトランスミッターを接続し、カメラで記録したクリップをLiveUトランスミッター/レシーバー経由でPWA-RXSにアップロードすることができます。

事前準備

LiveU社製品を使用する場合は、別途LiveU社のトランスミッターおよびレシーバーが必要となります。LiveU社と契約を行い、LiveUトランスミッター/レシーバーをLiveU Central GUIから登録し、ライセンスを発行する必要があります。
また、PWA-RXSからLiveU Centralに接続するための情報をLiveU社から入手してPWA-RXSに設定する必要があります。詳細は、LiveU社のマニュアルをご参照ください。

1. **コネクションマネージャーのグローバルヘッダーの［設定］から［コネクションマネージャー］タブの［LiveU Central］を選択する。**



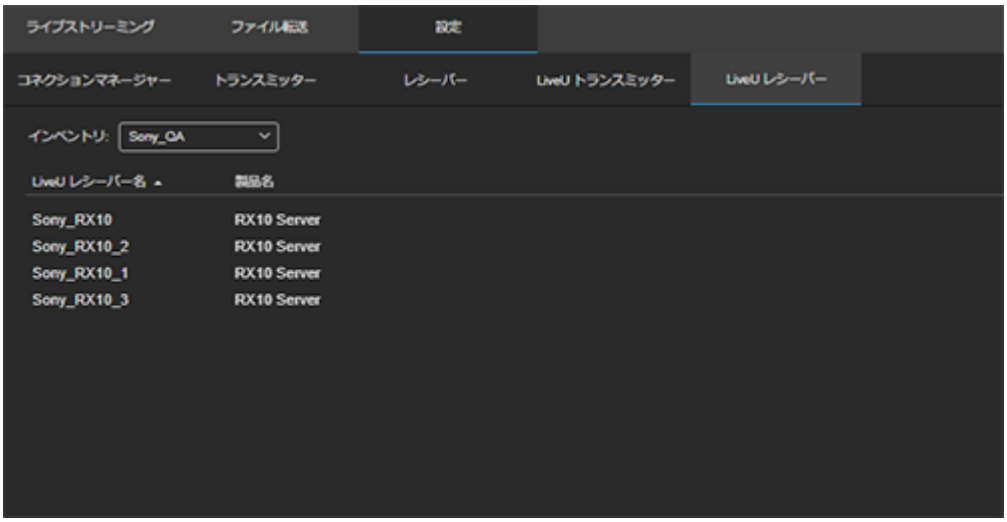
2. **事前にLiveU社より入手した、接続情報を設定する。**

3. **［接続テスト］をクリックし、接続が成功した場合は［LiveU Central 設定を保存］をクリックする。**

   LiveU Centralへの接続に成功すると、LiveUトランスミッター/レシーバー情報を取得することができます。

4. **［設定］から［LiveU レシーバー］タブをクリックする。**

   LiveUレシーバーの情報を確認できます。



5 **［LiveU トランスミッター］タブをクリックする。**

LiveUトランスミッターの情報を確認できます。

6 **LiveUトランスミッターを選択し、［LiveU レシーバー］でLiveUレシーバーをアサインします。**

アサインすると、LiveUトランスミッターからLiveUレシーバーを経由して、クリップがPWA-RXSにアップロードされるようになります。



関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326414

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

スマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）でカメラとLiveUトランスミッターの接続を設定する

カメラとLiveUトランスミッターを接続（ペアリング）するための設定をスマートフォンアプリ（Creators' App for Enterprise）で行います。

1. **Creators' App for Enterpriseで、PWA-RXSにサインインする。**
2. **カメラとCreators' App for Enterpriseがインストールされたスマートフォンを USBケーブルで接続する。**
3. **Creators' App for Enterpriseのホーム画面の［カメラ］ボタンをタップする。**
4. **［新しいカメラプリセットを作成］からカメラのQRコードを読み込んで、カメラと接続する。**

   Creators' App for EnterpriseからQRコード読み込みまたはBluetooth接続でカメラとCreators' App for Enterpriseを接続すると、PWA-RXSにカメラ情報が登録されます。PWA-RXSにカメラ情報が登録されると、カメラとLiveU トランスミッターが自動で接続（ペアリング）できるようになります。

   ご注意

   - LiveUトランスミッターとのペアリング対象機種は以下になります。
     - PXW-Z300
     - PXW-Z200
     - HXR-NX800

ご注意

- Creators' App for Enterpriseの設定や操作の詳細は、Creators' App for Enterpriseのヘルプをご覧ください。

TP1002326499

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

ファイル転送を開始する

カメラのクリップをPWA-RXSにアップロードできます。PWA-RXSにアップロードされたクリップは、外部システム（サーバーやストレージ）にファイル転送（エクスポート）できます。アップロードには、次の3つの方法があります。

- ネットワーククライアントモードで接続されたカメラからのアップロード
- スマートフォン/ポータブルデータトランスミッターにインストールしたアプリ（Creators' App for Enterprise）からのアップロード
- LiveU社製のトランスミッターからのアップロード

1. **グローバルヘッダーの［ファイル転送］を選択し、ファイル転送画面を開く。**

2. **［転送プリセットをアサイン］ボタンをクリックし、トランスミッターに転送プリセットをアサインする。**

3. **カメラの記録を開始、停止する。**

   カメラからPWA-RXSへのアップロード状況は、トランスミッターエリアの［進行状況］で確認することができます。
   PWA-RXSから外部のサーバーへのファイル転送状況は、［ジョブリスト］タブの［進行状況］で確認することができます。

関連項目

- ファイル転送画面の構成

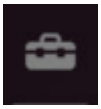
TP1002326415

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ストリーミングレシーバーを登録する

Initialization Toolを使用して、ストリーミングレシーバーを登録します。

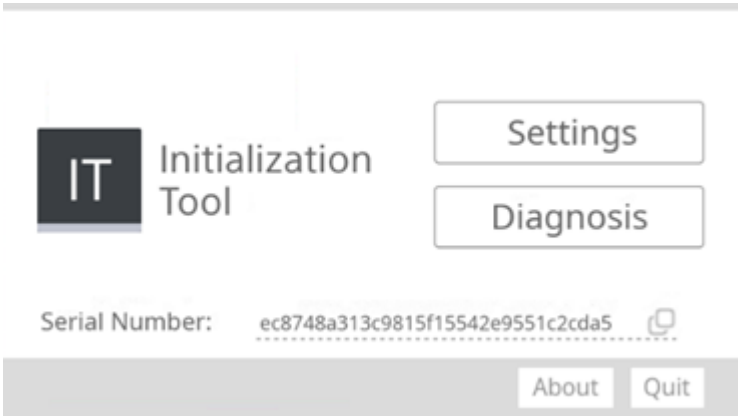
1. **PC画面左下の［アプリケーションを表示］から「Initialization Tool」をクリックする。**



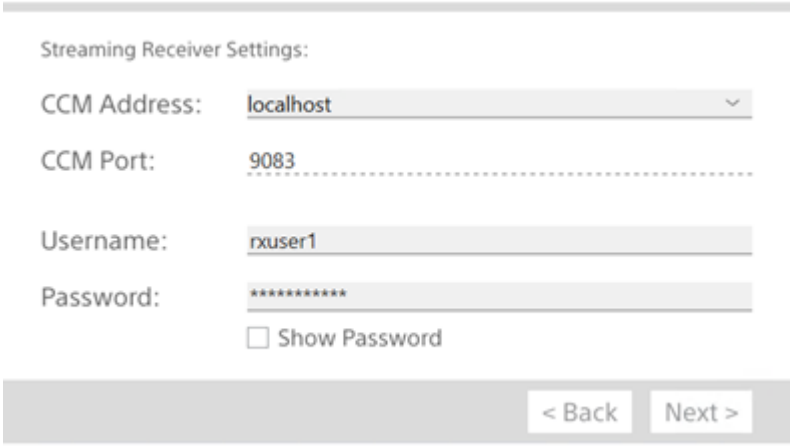
2. **初回起動時は、EULA（END USER LICENSE AGREEMENT）に同意する。**

お使いの国や地域を右上のドロップダウンメニューから選択してください。

3. **［Settings］をクリックする。**



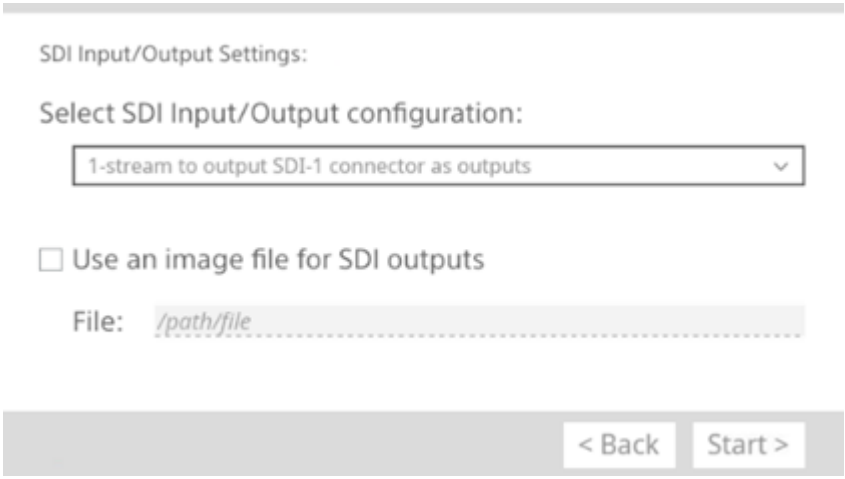
4. **コネクションマネージャーのホスト名、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力し、［Next］をクリックする。**



- ［CCM Address］：コネクションマネージャーのホスト名を入力します。
ホスト名には、SSL/TLS証明書の「Common Name」または「Subject Alternative Name」と一致する名称を記載してください。
- ［CCM Port］：コネクションマネージャーのポート番号「9083」が設定されます。
- ［Username］、［Password］：ストリーミングレシーバーからコネクションマネージャーにサインインするためのユーザー名とパスワードを入力します。

設定画面の［認証］>［レシーバー］に登録したユーザー名とパスワードを入力してください。

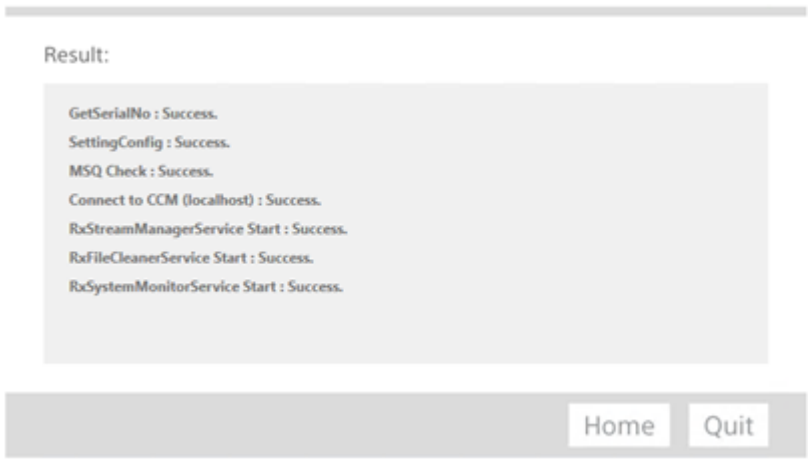
5 SDI出力の確認を行い、［Next］をクリックする。



- ［Select SDI Input/Output configuration］：SDI出力情報が表示されます。
  - SDIボードが4ポートの場合：［Use both SDI 1/2 connectors and SDI 3/4 connectors as outputs］が表示されます。受信した2系統のストリーミング入力を、それぞれSDI端子のペア（SDI 1/2とSDI 3/4）に出力します。
  - SDIボードが2ポートの場合：［1-stream to output SDI-1 connector as outputs］が表示されます。受信した1系統のみのストリーミング入力をSDI 1に出力します。
- ［Use an image file for SDI outputs］：ストリーミング停止中にSDI端子に静止画を出力する場合にチェックします。チェックしたときは、出力する画像ファイルを指定します。

6 ［Start］をクリックする。

コネクションマネージャーへの接続が行われ、ストリーミングレシーバーの登録が行われます。
設定完了画面が表示されたら、［Quit］をクリックします。



ストリーミングレシーバーを初期化するときは

Initialization Toolを起動して、［Diagnosis］を選択し、［Reset］をクリックします。

TP1002326409

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

コネクションマネージャーで受信・出力設定を行う

受信設定とSDI出力の設定

ストリーミングレシーバーがライブストリーミング受信に使用するIPアドレスとUDPポートを設定します。
また、PWA-RXSからSDI信号を出力する際の出力方式を設定します。

1. **クライアントPCからコネクションマネージャーにサインインする。**
2. **設定画面を表示し、［レシーバー］タブをクリックする。**
3. **設定を行いたいPWA-RXSを選択する。**
4. **［レシーバー名］にコネクションマネージャーに表示するこのPWA-RXSの名称を入力する。**
5. **［ホスト名 / IP アドレス］にインターネットからこのPWA-RXSのPCにアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力する。**
6. **［ライブストリーミングの開始ポート］にインターネットからライブストリーミングを受信するためのUDPポートの開始番号を入力する。**
7. **出力するSDI信号の設定を行う。**
   - ［解像度］：解像度を選択します。
   - ［フレームレート］：フレームレートを選択します。
8. **［レシーバーの設定を保存］をクリックして設定を保存する。**

関連項目

- コネクションマネージャーの管理画面を起動する
- 設定画面の構成

TP1002326410

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

カメラをネットワーククライアントモードに設定する

ネットワーククライアントモード対応カメラをネットワーククライアントモードに設定します。
操作について詳しくは、「カメラをネットワーククライアントモードに設定する」をご覧ください。

関連項目

- 制限事項

TP1002326500

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

SRTを使ってライブストリーミングを行う場合の設定を行う

SRTを使ってライブストリーミングを行う場合は、次のように設定を行います。

1. **設定画面の［トランスミッター］タブで、（トランスミッターを追加）ボタンをクリックする。**

   トランスミッターの設定が1行追加されます。

2. **［トランスミッター名］にSRTの名前を入力し、［製品名］で「SRT Caller」を選択する。**

3. **設定画面の［レシーバー］タブを開き、［SRT Listener 設定］の各項目を設定する。**

4. **ライブストリーミング画面のトランスミッターエリアでSRT Callerをクリックし、レシーバーエリアの受信するデバイスにドラッグ&ドロップする。**

   SRTの受信準備が完了します。ドラッグ&ドロップした際に宛先とポートが表示されます。
   表示されたアドレスが「srt://192.168.0.1:10000」の場合の宛先とポートは次の通りです。

   - 宛先：srt://192.168.0.1
   - ポート：10000

5. **手順4で表示された宛先アドレス、ポートをSRTストリーミングを行う機器に設定し、ライブストリーミングを開始する。**

   パスフレーズを使う場合は、手順3で［SRT Listener 設定］の［パスフレーズ］に設定した値をSRTストリーミングを行う機器に設定してください。

関連項目

- 設定画面の構成

TP1002326412

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ライブストリーミングを開始する

ライブストリーミングの開始や停止は、コネクションマネージャーのライブストリーミング画面で次のように操作します。
撮影現場で送信機器を設定して、ライブストリーミングの送信ができるようにしてください。

1. **トランスミッターエリアで、サムネイルが表示されているトランスミッターを選択する。**
2. **設定エリアの［アサイン先］で、出力するSDIポートグループを選択する。**
3. **設定エリアの［ネットワーク帯域］で、ライブストリーミングの最大ビットレートを選択する。**
4. **設定エリアの［レイテンシー］で、ライブストリーミング映像の遅延時間を選択する。**
5. **［設定］をクリックして設定エリアの設定内容を保存する。**
6. **ライブストリーミング操作エリアの［開始］をクリックする。**

   ライブストリーミング映像の配信が開始します。

ライブストリーミングを停止するには

ライブストリーミング操作エリアの［終了］をクリックします。

ライブストリーミング中の映像をファイルに保存するには

設定画面の［レシーバー］タブの［ファイル出力］をオンにすることで、SDI 1、2ポートへライブストリーミングされている映像がファイルに保存されます。保存の開始と終了は、［レシーバー］タブでの設定に従います。ファイルは「/opt/sony/c3p/rx-server/out/」に保存されます。
ファイルへの保存が行われている場合は、レシーバーエリアのサムネイルに（ファイル出力）アイコンが表示されます。ファイル保存時にエラーが発生すると、（ファイル出力エラー）アイコンが表示されます。エラーの場合は、保存先の状態を確認してください。

ライブストリーミング中の映像をRTMP出力するには

設定画面の［レシーバー］タブの［RTMP 出力］をオンにすることで、SDI 1、2ポートへライブストリーミングされている映像がRTMP出力されます。RTMP出力が行われている場合は、レシーバーエリアのサムネイルに（RTMP出力）アイコンが表示されます。RTMP出力時にエラーが発生すると、（RTMPエラー）アイコンが表示されます。エラーの場合は、RTMP出力先の状態を確認してください。

ご注意

- QoSロスが発生する場合やライブストリーミング映像が安定しない場合は、設定エリアの［レイテンシー］の値を大きくするか、または［ネットワーク帯域］の値を小さくしてください。
- ［レイテンシー］と［ネットワーク帯域］はライブストリーミング中も変更可能ですが、変更するとライブストリーミング出力が一時的にフリーズしたり、乱れが生じることがあります。
- ライブストリーミング中は、［レシーバー］タブの各設定項目は変更できません。
- ライブストリーミング中の映像をファイルに保存する際は720pに再エンコードされ、ファイルは約2時間で分割されます。

- 保存されたファイルは、すべての再生環境での動作を保証するものではありません。
- SDI 3、4ポートへのライブストリーミングはファイルに保存されません。
- SDI 3、4ポートへのライブストリーミングはRTMP出力されません。
- 設定画面の［レシーバー］タブで［RTMP 出力］を選択し、［解像度］で「1080p, 60fps」を選択した場合も、入力に合わせて50.00fps、59.94fps、60.00fpsのいずれかで出力されます。

関連項目

- ライブストリーミング画面の構成
- 設定画面の構成
- 対応フォーマット
- 制限事項

TP1002326416

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

カメラの制御画面を表示する

ネットワーククライアントモードで接続されたカメラに対しては、コネクションマネージャーからカメラの制御画面を開き、カメラを操作することもできます。ライブストリーミング画面で次のように操作します。

1. **トランスミッターエリアで、ネットワーククライアントモードで接続されたカメラを選択する。**
2. **設定エリアで［リモート］タブを開き、［カメラコントロール］をオンにする。**

   選択したカメラの制御画面が表示されます。

関連項目

- ライブストリーミング画面の構成

TP1002326417

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

撮影地点を地図上に表示する

ネットワーククライアントモードで接続されたカメラの場合、カメラのGPSで受信した位置情報をもとに、撮影地点を地図上に表示できます。この操作を行うには、カメラのGPS機能を有効にする必要があります。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。
ライブストリーミング画面で、次のように操作します。

1. **トランスミッターエリアで、ネットワーククライアントモードで接続されたカメラを選択する。**
2. **設定エリアで［地図］タブを開き、［地図を表示］をクリックする。**

   Webブラウザーに新しいタブが追加され、選択したカメラの現在位置が地図上に表示されます。

ご注意

- 位置表示は、カメラから有効な位置情報が取得できた場合のみ操作可能です。

関連項目

- ライブストリーミング画面の構成

TP1002326418

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

カメラのクリップを転送する

ネットワーククライアントモードで接続されたカメラのクリップを、コネクションマネージャーからの制御により、PWA-RXSにアップロードできます。PWA-RXSにアップロードしたクリップは、外部システム（サーバーやストレージ）にファイル転送（エクスポート）できます。ファイル転送画面で次のように操作します。

1. **グローバルヘッダーの［ファイル転送］を選択し、ファイル転送画面を開く。**
2. **ファイル転送画面のトランスミッターエリアで、ネットワーククライアントモードで接続されたカメラを選択する。**
3. **［プロキシ］タブまたは［ハイレゾ］タブをクリックする。**

   選択したカメラに保存されているクリップが一覧表示されます。
4. **転送するクリップのチェックボックスをクリックする。**
5. **［Transfer］をクリックする。**

   選択したクリップが転送ジョブリストに追加され、順次転送が行われます。
   ［ジョブリスト］タブをクリックすると、転送中のジョブの一覧が表示され、転送状況を確認できます。

クリップをプレビューするには

クリップリストでプレビューしたいクリップを選択し、再生アイコンをクリックします。プレーヤー画面が表示されます。
クリップリストに戻るには、プレーヤー画面左上の（Back）ボタンをクリックします。

プレビュー表示中のクリップを転送するには

プレーヤー画面右上の（Upload）ボタンをクリックします。クリップの一部分のみを転送したい場合は、IN点とOUT点を設定して、（Upload）ボタンをクリックします。

ご注意

- カメラがライブストリーミング中の場合は、ファイル転送が一時的に休止される場合があります。ライブストリーミングを停止すると、ファイル転送が再開されます。
- 記録メディアのフォーマットがFATの場合は、［ハイレゾ］タブでのファイル転送はできません。
- プレビュー表示はネットワークの状態やカメラの状態によって、一時的に停止する場合があります。

関連項目

- ファイル転送画面の構成
- コネクションマネージャーで受信・出力設定を行う

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

対応フォーマット

PWA-RXSが対応している、ライブストリーミング映像のフォーマットを示します。

SDI出力フォーマット

1920×1080	59.94p、59.94i、50p、50i
1280×720	59.94p、50p
720×576	50i
720×480	59.94i

ビデオフォーマット

- SD-SDI: 720×576 50i, 720×480 59.94i (SMPTE ST 259M)
- HD-SDI: 1920×1080 59.94i, 1920×1080 50i, 1280×720 59.94p, 1280×720 50p (SMPTE ST 291M)
- 3G-SDI: 1920×1080 59.94p, 1920×1080 50p (SMPTE ST 425M Level-A/B)

オーディオ

2-channel audio
Audio format: 16-bit / 48 kHz

ご注意

- カメラ側のシステム周波数がPWA-RXSのSDI設定と異なる場合、フレーム周波数を変換する際に、ライブストリーミング映像・音声に乱れが生じる場合があります。

SRT入力フォーマット

1920×1080	59.94p、50p
1280×720	59.94p、50p

ご注意

- SRTの4Kフォーマットには対応していません。入力された場合、エラーになります。

関連項目

- ライブストリーミング画面の構成
- ライブストリーミングを開始する

TP1002326420

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

制限事項

PWA-RXSを使用するうえで、下記の制約事項があります。

- ネットワーク環境によっては、ライブストリーミングが途切れることがあります。

TP1002326421

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

使用上のご注意

ネットワーク対応機器に対する注意事項

- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。セキュリティの面からすべてのパスワードを設定することを強く推奨します。PWA-RXS以外（OS等のユーザー）にもパスワードを設定することを強く推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザーで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザーにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザーを終了してください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または通信仕様上のやむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

電源に関する注意事項

PWA-RXSが動作中に突然電源が切れた場合、データが壊れる可能性があります。データ保護のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をお勧めします。また、電源コードを抜く場合やブレーカーを落とす場合は、必ずOSをシャットダウンし、PWA-RXSの動作を停止させてください。

その他の注意事項

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

免責事項

- ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。また、第三者が提供するサービスについて、ソニーはいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

TP1002495095

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

PWA-RX1をご利用のお客様への注意事項

PWA-RX1からPWA-RXSへのアップデートをご検討の際は、PWA-RX1の機能のうち以下の機能はPWA-RXSでサポートされませんので、ご注意ください。

- XDCAM pocketを使用したストリーミング
- インターカム機能
- Point-to-Pointストリーミング
- C3 Portalと接続したレシーバー運用
- レシーバーのポートチェックツール

TP1002326422

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWA-RXS Ver. 2026.1.0

商標

- Microsoft、WindowsおよびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。
- GoogleおよびGoogle Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- LiveUは、LiveU Ltd.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™マークは明記していません。

TP1002326423

B-P95-100-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation